

女性部会

日帰りバス研修会 7月7日(木)

7月7日曇り空の中、今回は公益法人化に向けて会員企業以外の一般の方の参加も募り、総勢31名(非会員1名)で体験方研修会を行いました。日ごろ意識せず食している「かまぼこ・竹輪」についての作り方の体験をすることによって、(作りかた)知ることの喜び、食べることの喜びを実感して参りました。

かまぼこ作りは初めてなので、皆さんわくわくドキドキしていました。まずは紙のエプロンと紙のキャップで身支度を整えます。髪の毛はキャップの中に全て入れます。次に風祭鈴廣かまぼこ工場の職人さんがかまぼこ作りのお手本をみせてくれました。包丁の持ち方、すり身の捏ね方、かまぼこ板の上にすり身をのせ方など、分かりやすく詳しく優しく教えていただきました。見ていて簡単そうに思いましたが、いざ自分たちがやってみるととても難しくて苦労しました。魚のすり身の中の空気を抜く為に包丁の背ですり身をこねるのですが、包丁の片側だけしか使ってはいけないのに、両側に付いてしまい四苦八苦したり、隣の人を見たらとても上手なので、もう一度やり直してみたりと、それでもどうにか皆さん個性的な形のかまぼこが出来上がり、かまぼこ専用の蒸し器に入れました。

それから竹輪作り。竹輪は竹の棒にすり身を巻きつけるのですが、職人さんは簡単に包丁で巻きつけていたのですが、包丁では上手くいかず、手で握って形を整えている方もおりました。(それでもOKです)竹輪は専用の竹輪焼き機の上に置きます。職人さんが裏返してくだり、だんだん焦げ目がついていきます。かまぼこ・竹輪は出来上がるまで工場に預けて、研修旅行のプログラムへ進みます。

バスの中では税のビデオ「国税徴収監の仕事」(マルサ)を拝見し、TVドラマみたいで面白く私達の知らない内容で大変参考になりました。

箱根湯本富士屋ホテルでランチバキングをいただき、その後、箱根彫刻の森美術館へ行きました。満開の紫陽花が雨にぬれてとても綺麗で、彫刻のオブジェも緑の芝生や木々に調和し素敵で、ピカソ館では初期の頃のあまり知られていない作品を拝見してよかったです。足湯に浸かって日ごろの疲れを癒した方もおり楽しい一時でした。

帰りのバスの中ではピンゴゲームをしました。現地で景品を調達したので、当たった人はお土産にもなります。さつま揚げや温泉卵、彫刻の森のキーホルダー、一番ピリの人でも、かまぼこ用のドレッシングが当たり大変盛り上がりしました。

もう一度風祭鈴廣かまぼこ工場に戻り自分が作ったかまぼこ・竹輪を一人一人いただき、十人十色で皆自分のかまぼこが一番良いととても満足していました。かまぼこに空気穴があったり竹輪の輪が均等ではなかったとしても、味はとても美味しかったようです。家庭に帰ってから食卓でかまぼこ・竹輪を食べながら、話が弾んだことと思います。お子さんからは、「お母さんだけいいなあ。僕たちもかまぼこ作りをやりたいから連れて行って。」と言われたという話も聞きました。次はご家族と行ってみてください。きっと楽しめると思います。

事故もなく楽しく一日を過ごすことが出来ました。皆様ご参加ありがとうございました。



風祭鈴廣かまぼこ工場にて



「かまぼこ・竹輪」作り方体験教室



彫刻の森美術館にて集合写真



彫刻のオブジェの前で集合写真